

重要・1年間保存

三田市立三輪小学校
校長 山木 光則

警報発表時及び震災等発生時の対応について

1 異常気象時等の対応

(1) 午前7時現在、三田市に特別警報・警報が発表されている場合

⇒ 「臨時休校」(波浪警報・高潮警報のみは除く)

※三田市に警報が発表されていない場合は、休校とはなりません。

※「まなびポケット」でお知らせします。

※本校は三田市の土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害警報が出された場合も同様です。

※警報が発表されなくても、登校時刻に気象異変(大雨・雷・突風等)が起こっている場合、登校を見合わせ、安全な状態になってから登校させてください。

(2) 登校後、特別警報が発表された場合

⇒ 学校長の判断により、「引き渡し」

※「まなびポケット」でお知らせします。

(3) 登校後、警報が発表された場合

⇒ 学校長が安全を確認した上で、教師引率による「集団一斉下校」

※「まなびポケット」でお知らせします。

※地区担当が引率し、地区まで下校指導を行った際、家に入れない児童がいることも考えられるので、地区担当は集合場所にて約10分間状況確認を行います。家に入れない児童は、学校へ連れ帰り引き渡しとなります。

※本校は三田市の土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害警報が出された場合も同様です。

※保護者が不在等の児童は、体育館に待機させ、保護者に引き渡します。引き渡しにあたっては、各学級の待機児童名簿(クラス単位)を体育館の出入口付近に貼り出し、配置職員が確認(名簿チェック)後になります。

※天候悪化等が予想される場合には、あらかじめ連絡帳に警報が出た後の対応を明記してください。

学級担任が、朝の会で引き渡しの必要な児童を確認し、待機児童名簿を作成します。混乱を避けるために、当日の電話での連絡はご遠慮ください。

2 震災等発生時の対応

(1) 登校前に大規模な地震が発生した場合

⇒ 学校長の判断により、「自宅待機」又は「臨時休校」

⇒ 震度5弱以上の場合は、「臨時休校」

※「まなびポケット」でお知らせします。

(2) 登校後、大規模な地震が発生した場合

⇒ 学校長の判断により、安全が確保されるまで学校に待機し、状況に応じて教師引率による「集団一斉下校」又は「引き渡し」

⇒ 震度5弱以上の場合は、「引き渡し」

※「まなびポケット」でお知らせします。

(3) 登下校中、大規模な地震が発生した場合

登下校中に地震が発生したときは、危険物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない安全な場所に避難し、身を伏せる。揺れが収まったら学校または自宅へ向かう(戻る)こととします。

※「まなびポケット」でお知らせします。

※気象情報や不審者情報等については、「さんだ防災・防犯メール」で情報発信されます。

登録されていない方は、こちらの登録もお願いいたします。

3. 兵庫県に「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合

「熱中症特別警戒アラート」とは、県内全ての『暑さ指数情報提供地点(兵庫県は19箇所)』における、翌日の暑さ指数(WBGT)最高値が35以上になると予想される場合に、環境省から発表(前日の14時頃)されるものです。その場合、市立小中特別支援学校は、臨時休業となります。

4. 弾道ミサイル飛来時の対応

学校から登校の連絡があるまでは「自宅待機」とします。「登下校中」の場合は、安全な場所に避難し、身を伏せます。その後、学校又は自宅に向かいます。「休校」「自宅待機」等の緊急連絡がある場合は、「まなびポケット」でお知らせします。基本、上記の地震発生時の対応に準じます。日本の領土・領海にミサイルが落下・着弾した場合は、原則「臨時休校」とします。